

【KV-40】ブリーフィング資料

■ 走行全般

1. ホームストレート上のパイロン線はまたがないこと。
ホームストレートを下る車両とコースイン直後の車両が交錯する恐れあり。
2. 各アタック中、充電側ブレーカの復帰作業を行う際は、必ず電池の温度や固定の状態を確認し、ブレーカのカバーを開けて作業を行うこと。
3. 各アタック中、走行不可能となった車両に対し、オフィシャルが走行距離の認定を行う。認定を受けたドライバーは、車両をコース外へ移動させ、安全な場所に退避すること。また、当該チームは未完走扱いとなり、以後のアタックは嘆願書提出を条件に順位・賞典対象外の出走となる。
4. 黄旗表示中は前方に低速車両または停止車両があるため、コース状況に細心の注意を払い走行すること。
5. 走行終了時は各監視ポストにて赤旗＋赤ライトパネルが表示される。
この時点で完走できなかったドライバーは、必ず走行距離認定を受けること。
6. KV-40走行枠以外の時間帯は、他のクラスの車両・競技運営車両が通行するので、接触等危険な状況を回避するため、むやみにピットレーンやシグナリングプラットホーム(ピットレーンウォール)には出ないこと。
7. ドライバーをはじめ全ての参加者は、十分な水分補給をこまめに行い、熱中症予防を怠らないこと。



図 1 ホームストレート上パイロン線

■ タイムアタック

1. 1stアタックのスタート順は整列順となる。 走行前の動作チェックをパスしたチームより順に整列すること。コントロールタワー前のスタート位置から日章旗の合図により、フルコース1周のアタック開始となる。
なお、2nd, 3rdアタックの走行順は、その直前のアタックで上位のチームから順に走行となる。
2. 約10秒～15秒間隔(速やかにスタート出来るようにスタンバイ)で出走開始となる。
【最終出走】1st : 10時00分 / 2nd : 12時40分 / 3rd 15時20分
3. ホームストレートに戻りコントロールライン(タイム計測ライン)でチェッカーを受け、完走となる。チェッカーを受けたドライバーは速やかに減速し、ホームストレート前方の「チェッカー後一時停止位置」で緩やかに停車すること。
走行終了後は、公式通知No.3で規定されている通り、駆動用電源・サーキットブレーカの保管を行うため、各アタック終了後、すみやかにPIT51,52へ持ち込むこと。このとき、黒いアスファルト部分を通ること。ピットロードの白いコンクリート部分を通ると、ペナルティ対象となる可能性があるので注意すること(図2)。その際、車両重量測定(KV-2のみ)、ドライバー体重測定(KV-1,2共通)を行う。
4. 1st, 2ndアタックで完走できなかったチームは、各アタック終了後30分以内に該当アタックの出走嘆願書をピットビル2階大会事務局へ提出することにより、次のアタックに出走することが出来る。
その場合、駆動用電源・サーキットブレーカの保管は解除され充電が認められるが、嘆願書提出以降のアタックは賞典外の出走となる。
5. 全アタックを完走したチームは、競技終了後に車両保管の対象となるためオフィシャルの誘導に従い、車両保管場所のPIT1～4に車両を預けること。
6. 全ての競技が終了し記録の集計を行った後、競技の暫定結果が発表される。また、最終チェッカー車両の再車両検査終了後、車両保管が解除となるので、保管場所より車両を引き取ること。



図 2 ピットロード

競技に使用するフラッグ

【日章旗】



競技スタート合図の旗

【イエローフラッグ(黄旗)】



前方に低速車及び停止車両あり。
前方に注意して走行。

【ホワイトフラッグ(白旗)】



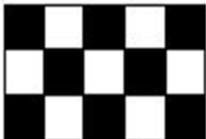
競技車両以外の走行車両あり。
前方に注意して走行。
走行距離認定のオフィシャルカー、救急車
レスキューカー等の車両が走行する場合あり。

【レッドフラッグ(赤旗)】



競技の中断。
ドライバーは直ちに速度を落とし、
必要に応じて停車できる態勢をとること。

【チェッカーフラッグ】



競技終了の合図

以上